

2022年度沼津市バレーボール協会 基本方針

当協会（昭和23年）は、発足から73年が経過しました。この間、協会員の皆様のご努力とご協力により確実に一步一步前進しております。しかしながら、健全で民主的な運営を目指す中ではまだまだ多くの課題を抱えているのも現実です。

これからも一つ一つ問題点を解決しながら前に進んでまいりたいと考えています。

一昨年度から新型コロナウイルス感染症により年度総会が中止や延期となり、昨年度も家庭婦人全大会・町別バレー・教育長杯・弥生杯等が、中止に追い込まれ、中学校健全育成杯・高校スポーツ祭等が感染対策を行い辛うじて実施されました。多難な2021年度でした。

市協会としては、感染対策をし各種別の大会運営をおこなっていきたいと考えています。

さらに昨年度は、沼津市協会競技規則適用完全実施の年でしたが町別・教育長杯・弥生杯が中止となり、競技規則を浸透させることができませんでした。

また、市協会の活性化を目指し継続事業として2019年6月よりの小学生バレーボール教室（チャレンジバレーキッズ）や昨年度からの中学生男子バレーボール教室を開催してバレーボール人口拡大にも取り組んできましたが、会場や指導者不足で断念しました。今後の課題として、会場の確保及び指導者の発掘、育成が急務であります。

さて、今年度も未だ収束が見られない新型コロナウイルス感染症の状況下にありますが、皆様と知恵を出し合い、協力してこの困難な時期を乗り越えてゆきたいと思えます。

*今年度新体育館完成に伴い、V1リーグ開催予定されています。協会の皆様の協力をお願いします。

次の点について努力していきたく思います。

***感染防止対策の徹底をし、試合開催へ向け尽力する。**

1 健全な財源の確保

- ① いろいろな収入源の確保
- ② 業務部、専門部での予算の見直し

2 普及と強化

- ① コロナ禍におけるチーム登録の減少対応
- ② バレーボール人口の拡大（小・中学生世代）
- ③ 一般・クラブ部への対応
- ④ 小・中・高生の普及と強化
- ⑤ 東レアローズ・ブレス浜松のバレーボール教室の開催への努力

3 倫理規定の遵守

- ① 指導における暴力やパワハラ根絶
- ② 指導者が誇りと自覚を持って臨む

4 審判員の確保・育成

- ① 沼津市公認審判員制度の導入
- ② 沼津市公認審判員育成と研修

5 Vリーグ開催に向け役員育成

- ① **新体育館2023年1月完成時にVリーグ開催を誘致（継続的に）**
- ② 協会役員育成

沼津市バレーボール協会ホームページ
<https://sva-shizuoka-numazu.jp/>